

令和4年度 1学年『異分野融合サイエンス』A期第2回(7/7 実施)生徒アンケート自由記述

Q16 参加した感想を、自由に書いてください。

① 地域振興とデータサイエンス

- ・インタビューの難しさを知った。(2)
- ・今回は、道の駅米沢での研修で、米沢をはじめとする山形、地元の良さというものを商品や建物から感じられ、楽しかった。
- ・地域についてより深く知ることができたので良かったと思う。(2)
- ・実際にいらっしゃった方とコミュニケーションをとることで、新しい視点からの意見に気付けた。(3)
- ・楽しかった。(2)
- ・道の駅の工夫が知れて良かった。(2) これからも地域の観光について興味を持ちたい。
- ・道の駅の魅力が感じられたフィールドワークだった。
- ・地産地消などいろいろなことが分かった。
- ・実際に行ってみないと分からないことが沢山あったので良い経験になりました。実際に行ってみて見つけた課題もあったので、それをみんなに伝えられるように頑張りたいです。(3)
- ・実情を知ったことで、たくさんの発見やアイデアを得ることができて面白かったし、楽しかったです。
- ・地域振興の大切さを改めて知った。
- ・普段はできないような経験ができ、とても楽しかったです。良い活動にすることができ、自分的にも満足です！
- ・インタビューを行う中で、米沢の魅力は様々な人に伝わっていると感じた。米沢に住んでいるけれど知らないことがまだまだあった。

② 人文学とサイエンス

- ・自分の進路の視野を広げる良い機会となった。
- ・周りの人とLGBTについて意見を交わす時間が欲しかった。
- ・世界中で必要となっているジェンダー平等について学んだことのある知識よりさらに詳しく知ることができてよかった。
- ・初めて知ることが多くてとても勉強になった。これからの普段の生活でも今日学んだことを活かして過ごしていきたい。
- ・自分が思っていたよりもジェンダーに対する考えを深めることができた。受講前では気づかなかった社会の課題を自分なりに見つけることができた。(8)
- ・今回の講義では、ジェンダーについて自分の知らない細かい所まで知ることができました。この内容や性別について「理解」せず間違った考えを持ってしまう人も多いと思うので、この「理解」をもっと広げていけたらいいと思いました。
- ・今回の講演は、内容、言葉選び等とても素敵で、もっと聞きたいと思いました。FSだけでなく、全校生徒に講演をしてほしいと思いました。
- ・正直、最近のLGBT+の人たちを尊重する社会に疑問を持っていました。しかし、日本の制度や、SOGIについて詳しく学ぶことで、LGBT+の人だけが尊重されるべきなのではなく、この問題を社会全体が自分ごととして捉え、全員が暮らしやすい社会をつくっていくことが大切なのだとわかりました。
- ・性に対する考え方が変わりました。性の多様性を認め合える社会になってほしいなと思いました。また、世界の中で、性に対する考え方が、国や地域ごとに分かれていることを初めて知って驚きました。すごくためになる講義でした。

- ・私たち高校生にとっても、とても身近な内容であり、とても重要な「性」についての話を深いところまで聞いたのでよかったです。また、自分自身の SOGI を見つけるのも、非常に重要であり、自己を見つめる良い機会になると思いました。
- ・性について、全てを理解することは不可能だけれども、少しでも理解、知ろうとする態度はとても大事だなと思いました。
- ・性別や性に対する社会のあり方を考える必要があるなあと思い、とても勉強になりました。
- ・SOGI という言葉を使えるようにしようと思った。
- ・ジェンダーについては関心があり、面白い講義でした。男女での平等は難しいのではないかと感じていたけれど、法学上成立するというのが特に印象に残りました。
- ・問題解決のためには、個人が何をするかではなく、皆ができるように努めることが大切なのだと思います。

③ 教育と科学

- ・グループで授業の構成を考える中で、分かりやすく説明できるように構成するのが難しかった。(2)
- ・今まで関りがなかった人とも協力してできたし、みんな優しく楽しかった。(2)
- ・FS での初めてのグループ活動でしたが、全員で協力して授業内容を考えることができました。(4)
- ・自分たちで授業をつくるのはとても難しかったが、どうすればみんなに楽しんでもらえるか考えながらできた。(2)
- ・とても楽しかったです!! 次の授業が楽しみです。歴史についてもっと考えを深めたいです。
- ・詳細を詳しく知れてよかった。
- ・皆で迷いながらゴールまでいけたので楽しかった。次回がんばりたい。
- ・たくさん話し合っ、だんだん形になっていくのが楽しかった。

④ ライフサイエンス

- ・現在の社会での課題が分かった。自分のためになる体験でした。
- ・盲導犬や視覚障害について、初めてこんなに詳しく聞いて注意する点などが分かりました。(5) レイラちゃんが意外と速くておどろきました。
- ・ほとんど触れる機会がなかった盲導犬について、今回学ぶことができ非常に良かったです。一人で杖をつけて歩くのと、盲導犬と一緒に歩くのとでは全く違うだろうな、と感じました。
- ・バリアフリーについて、深くピンポイントで学ぶことができ良かった。
- ・アイマスクをして歩いてみるのがとても怖かったです。
- ・自分の興味関心が深まって、とても良い機会になった。

⑤ 機械・エネルギー工学と社会

- ・次世代の技術を駆使したスマートハウスに入って、将来どのように技術が進化して、生活が豊かになっていくか実感が湧いてとても面白かった。(6)
- ・エネルギーをつくる・ためる・活用する、これらの工夫とそれらを活用したスマート未来ハウスは凄いなと思った。
- ・5年ほど前から有機 EL は日常生活に密着していることがわかった。
- ・有機 EL の魅力やすごさが良く分かりました。(3) 有機 EL を多く使った家では、すごく居心地がよく、こんな家に住んでみたいと思いました。
- ・興味関心が高まったし、楽しかった。
- ・有機 EL などの詳しい仕組みがよく分かった。とても楽しかったです。

- ・有機 EL はとても薄いということは知っていたが、一枚で何色も出せるということは知らなかった。また、実物を初めて見て、薄さを改めて実感した。
- ・米沢が意外とすごいところだったということが分かった。環境問題を解決する手がかりになるような考えがあり、スマート未来ハウスでは、未来の理想の暮らしが分かった。
- ・有機 EL は利用の仕方の幅がすごく、さらには、地球の未来のためにも使えるものだと知り、自分ももっと調べたくなった。

⑥ デザインと工学

- ・デザインというテーマから、音について学ぶということにつながっていることに気付かなかったけど、音をデザインすることは、社会問題の解決に大きくつながることが分かりました。また、自分は知らなかった分野なので、とても興味が湧きました。(3)
- ・デザインというものに対する理解が深まった。これから先、進みたいものとかはある程度決まっているが、それだけにならないように周りにも興味を持っていきたいと思った。
- ・自分の将来の幅が広がるととても面白い講義だった。(2)
- ・とても面白かった！デザインで音？と思っていたけど、つながりが深くて感心した。音について学べる学科・大学を詳しく調べたい！
- ・音響のことだけでなく、社会での必要なことや、視覚障がい者の視点を体験して、もっとバリアフリーについて考える必要があると思った。(4)
- ・サウンドスケープについて初めて知ったのですが、私たちにとって他人事ではないということが分かりました。バリアフリーについて興味があったので、音のバリアフリーという点で新しい視点で見ることができたのがとても勉強になりました。
- ・見えないということを体験してみて、いつもと同じ場所だけど、違う感じがして、いつもより神経を使った気がする。
- ・デザインについてだけでなく、これからの進路や職業について考える良い経験になった。(2)
- ・知っていても、正しく理解していなかったり、よく分かっていなかったりしていたことに気付きました。
- ・自ら体験して実感するのが一番よく理解できたし、積極的に活動できた。

⑦ マテリアルサイエンスと人間社会

- ・安山岩を用いて中和をしていることに驚いた。
- ・現在の鉱さいの処理、現状を知ることができておもしろかった。安山岩は有限なので、これからどうするのか考えていきたい。
- ・自然の力だけで強い酸性を (pH 2) 酸性 (pH 4) にしていてすごいなと感じた。
- ・自然を堪能できたし楽しかった。(4)
- ・人々に安全な水を届けるためには、硫黄水の特性を生かして、何度もろ過をするということが大切だと学べた。
- ・人が手を加えたことによって起きてしまった被害を、なるべく根本的なところから直そうとするところで、自然の力も借りる、ということがすごいなと思った。
- ・私たちの生活に水があるのは、いろいろな人が見えないところでいろんなことをしてくれていたからだと分かりました。
- ・地域の川の安全は、こういう取り組みがあってこそのことなのだと実感しました。(2)
- ・改めてサイエンスを理解する人材は重要だと実感できました。SDGs についてや環境からの視点も持

っていたので、将来私もこのようなことを考えられる仕事に就いてみたいと思いました。

- ・昔の鉱山開発の影響が今も残っていることが少し残念に思えた。開発と、生じる問題の対策は両立しなければならないと感じた。
- ・実際に現場で見て、pHを測って違いや仕組みを理解でき、興味を持った。(4)
- ・鉱毒水を全く薬品を使わずに自然の力でpH7まで中和できるのはとても時間がかかるのだと思った。
- ・鉱さいが入ってできてしまった強酸性の水の中和の仕方を学べた。(2)
- ・地元の歴史でまだ知らなかったことで、地域との関りを実感できました。
- ・SDGsで考えると、達成できる取り組みだと思いました。安山岩での中和の仕組みが気になりました。

⑧ バイオ産業科学と社会課題

- ・自分が今まで触れてこなかった分野のことを受講できたので、新たな発見があって楽しかった。(4)
野菜や果物を実際に切ってみて、より理解が深まったのでよかった。
- ・植物に興味が湧きました。(2)
- ・わかりやすくてとてもおもしろかったです。
- ・最初は難しそうと思っていたが、身近なことが多く、とても楽しかった。
- ・自家不和合性など新しい言葉についての理解が深まった。
- ・植物が何科であるかなどを考えるのが面白かった。
- ・面白かったです。
- ・アブラナ科の自家不和合性など、植物の品種改良や先生の生き方について学ぶことができた。(2)
- ・とてもためになった。これから自分がどうやって生きていこうか考える材料が増えた。

⑨ 医療の最先端

- ・これからの医療体制では、高度な医療を受けられる集約型と、地域密着型に役割を分担し、治療への効率を高めていくことが大切だと思った。(2)
- ・現在の医療の問題をはっきり理解することができたのでよかった。(8)
- ・聞いたことがある内容にも触れていて、分かりやすかった。
- ・病院単体ではなく、地域的な包括型の医療を作っていかなければならないのだと思った。
- ・様々なグラフの中から、日本や山形の医療の現状、課題を知ることができた。専門的なこともお聞きして、とても楽しかったし、自分にとって学びが多い講義だったと感じた。
- ・医療の問題は科学だけでなく、地域との関連もあることが分かった。将来医師になったら、地域のために何ができるかを考えていきたい。
- ・将来就きたい職業のことについての知識が増え、さらになりたい気持ちが強くなった。
- ・医療の社会的な問題点を指摘され、他にもいろいろな考え方があることが分かりました。1つの目線だけで見ることはバランスが悪く、よりよい医療を提供できないので、多角的に考えようと思います。
- ・医者とは人の命を助ける職業だと思っていたが、高齢者の見取りのことなども考えていることを初めて知った。
- ・山形県は医師の増加率が最も低いですが、日本の医療の課題である「役割分担」を行う動きが進められていることにおどろいた。
- ・山形は、日本の医療モデルとなる場所があると知ったので、山形県民として、医療の最先端を身近で感じ、学んでいきたいと思った。